

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 6 日

評価対象事業		評価者	駅周辺整備課長 宇高 毅		
まち-08	実施事業	市街地整備運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	駅周辺整備課(再開発課)
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進	

1 事業の目的

対象	駅周辺整備課
意図	部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。
効果	事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 旧拠点整備部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。 施設の適正な維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,869人	176,466人		人口	176,308人	
	世帯数	80,928世帯	81,150世帯	世帯数	81,763世帯			
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数				
	決算値(千円)	3,552	3,878	当初予算(千円)	3,365			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	3,552	3,878	一般財源	3,365			
事業経費運営	人員配置数	1.1	1.8	人員配置数	0.6			
	人件費(千円)	8,250	13,718	人件費(千円)	4,641			
	総事業費(千円)	11,802	17,596	総事業費(千円)	8,006			
	市民1人当りの経費(円)	67	100	市民1人当りの経費(円)	45			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	引き続き、課内の庶務及び施設の維持管理を適切に行っていく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	東口再開発事業は実施を延伸しているが、必要最小限の範囲で、課内の庶務等の執行管理や旧大船駅周辺整備事務所の維持修繕や施設管理は、今後も実施していく必要がある。平成30年4月の機構改革により、部内庶務に係る執行管理は土地利用政策課が担うこととなったが、事務所の施設管理等を適切に行っていく。
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	なし	
課題解決のために行った平成29年度の取組	なし	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	なし	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向								備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										